

## 第3回青森県民駅伝競走大会レースの概要

### 第1区（八甲田丸～フェリー埠頭；5.495 km 一般）

今年は昨年と違い天候に恵まれ、正午の気温は25度位までになっている。今大会も選手の安全性を確保するためにスタート地点の選手の位置は、1列目と2列目は昨年の大会の上位チームをシードし、その他のチームは抽選により配置した。

スタート後、むつ市の金澤選手がレースを引っ張り、南郷村、青森市、大間町等がその後に続くが、2.2キロを過ぎたあたりから、徐々に金澤選手が2位以下を引き離し、そのまま2区にトップでたすきを引き継いだ。

### 第2区（フェリー埠頭～旧聖徳公園前；3.2 km 中学生男子）

むつ市の鷹架選手が総合区間ラップを奪う快調な走りで2位との差を広げていく。これに、南郷村、青森市、五戸町、三沢市、東北町が続く。昨年の優勝チーム八戸市はトップから2分近く遅れている。

### 第3区（旧聖徳公園前～合浦公園；2.9 km 女子）

プラタナスの並木道が合浦公園まで続き、選手はその中を走り抜けて行く。トップでたすきを引き継いだむつ市の佐佐木選手は、安定した走りで2位との差をさらに広げる。東北町が南郷村を抜き2位に上がり、これに大鰐町、野辺地町、五所川原市が続く。

この区間では、野辺地町の寺沢選手が10人抜いて5位に浮上しており、総合区間ラップを奪う。遅れていた八戸市は徐々に順位を上げて10位でたすきを引き継ぐ。

### 第4区（合浦公園～野内；4.0 km 一般）

秋の日差しが次第に強くなる。むつ市が順調な走りでトップを保つ。これを東北町が追い、その後に青森市、三沢市、八戸市、六ヶ所村が続くが、1位と2位のタイム差は依然1分10秒の開きがあり差を詰めることはできない。

野内中継所では、大会規定により先頭から10分以上の差となった5チームを繰り上げスタートさせたが、昨年と比較すると1チーム少なくなっている。

### 第5区（野内～諏訪沢；5.3 km 一般）

田園風景が秋を感じさせる。東北町の中村選手が区間ラップを奪い、八戸市の佐々木選手とともに区間新記録をマークする快走をみせ先頭のむつ市にせまる。

むつ市が依然トップを維持しているが、2位の東北町とは35秒、3位の八戸市とは1分差というように徐々に差が詰まってくる。この後を三沢市、青森市、六ヶ所村が続く。

### 第6区（諏訪沢～戸山団地；5.4 km 一般）

気温が28度まで上昇する。東北町、八戸市が先頭を走るむつ市を追い上げる。4キロ地点ではそれぞれ50m、150mまで迫るが、むつ市がトップのまま逃げ切り、以下、東北町、八戸市、青森市、三沢市、黒石市の順で女子選手にたすきを引き継いでいく。村の部は福地村がトップに浮上し、六ヶ所村と接戦が続く。

戸山団地の中継所では、大会規定により先頭から15分以上の差となった5チームを繰り上げスタートさせたが、昨年と比較すると4チーム少なくなっている。

第7区（戸山団地～幸畑；3.7 km 女子）

八戸市の掛端選手が快調な走りをみせ、東北町を抜き去り2位に上がり、トップむつ市に17秒差に迫る。青森市もトップと1分差で3位に浮上し、レースの終盤に望みを託す。

町の部は1位の東北町の後に、昨年優勝の下田町、野辺地町、百石町、大鱈町、階上町が続く。

村の部は六ヶ所村が再びトップを奪い返し、福地村との先頭争いが激しくなり、南郷村、森田村、天間林村、碓ヶ関村がこれに続く。

第8区（幸畑～流通団地入り口；5.2 km 一般）

最もアップダウンの激しい難しいコースである。逃げるむつ市を八戸の赤間選手が1キロ付近で並び、そのまま抜き去ってトップにおどりける。青森市の藤田選手が区間ラップを奪う快走をみせ、八戸市、むつ市を必死で追い上げる。4キロ付近では八戸市とむつ市の差が15秒、むつ市と青森市の差が15秒となる。この後を、東北町、福地村、弘前市が追っている。

町の部は、東北町が2位との差を4分に広げ、下田町、野辺地町、三戸町、大鱈町、百石町の順となっている。

村の部は福地村と六ヶ所村の激しいデッドヒートが展開され、福地村がトップでたすきを渡し、13秒差で六ヶ所村が続く、森田村、南郷村、天間林村、碓ヶ関村が続く。

流通団地入り口の中継所でも、大会規定により先頭から15分以上の差となった13チームを繰り上げスタートさせたが、去年の33チームと比較すると大幅に減少した。

第9区（流通団地入り口～細越；3.2 km 40歳以上男子）

40歳以上男子の区間であり各市町村の実年ランナーが力走する。八戸市の風張選手は昨年同様のダイナミックな走りで区間ラップを奪い、2位との差を1分近くに広げ八戸市の優勝を不動のものとする。2位以下はむつ市、青森市、東北町、弘前市、六ヶ所村が続く。

町の部は東北町がさらに差を広げていく。村の部は六ヶ所村が再び福地村を抜き返す。

第10区（細越～県陸上競技場；3.8 km 中学生男子）

県小学生陸上競技記録会の行われている県総合運動公園陸上競技場に向かう。先頭の八戸市はそのままゴールにとびこみ3年連続の優勝。（優勝タイム2時間11分45秒は去年の記録から1分45秒遅れる）

市の部の第2位はむつ市、第3位には青森市が入賞する。

町の部は、東北町が総合4位でゴールし2度目の優勝を勝ち取り、去年の雪辱を果たした。（優勝タイム2時間13分30秒は第1回大会での記録を2分28秒上回る）第2位には下田町、第3位には野辺地町が入賞した。

村の部は六ヶ所村と福地村が熱戦を繰り広げたが、第9区で浮上した六ヶ所村がそのままゴールし、村の部で3年連続の優勝を果たした。（優勝タイム2時間16分19秒は去年の記録より15秒遅れる）

第2位には福地村、第3位には南郷村が入賞した。